



## 令和5年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

令和5年8月10日

上場会社名 極東産機株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6233 URL <https://www.kyokuto-sanki.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 頃安 雅樹  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 曾谷 雅俊 TEL 0791-62-1771  
 四半期報告書提出予定日 令和5年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 令和5年9月期第3四半期の連結業績（令和4年10月1日～令和5年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
5年9月期第3四半期	7,074	0.7	181	△1.4	160	△9.5	106	△6.0
4年9月期第3四半期	7,022	0.9	184	△12.4	177	△22.3	113	△28.7

(注) 包括利益 5年9月期第3四半期 126百万円 (7.9%) 4年9月期第3四半期 116百万円 (△32.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
5年9月期第3四半期	19.74	—
4年9月期第3四半期	20.99	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
5年9月期第3四半期	10,370	2,913	28.1
4年9月期	10,430	2,841	27.2

(参考) 自己資本 5年9月期第3四半期 2,913百万円 4年9月期 2,841百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
4年9月期	—	0.00	—	10.00	10.00
5年9月期	—	0.00	—		
5年9月期（予想）				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 令和5年9月期の連結業績予想（令和4年10月1日～令和5年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,300	6.4	350	53.2	305	56.6	200	39.4	37.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	5年9月期3Q	5,391,000株	4年9月期	5,391,000株
② 期末自己株式数	5年9月期3Q	76株	4年9月期	28株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	5年9月期3Q	5,390,968株	4年9月期3Q	5,390,972株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(会計方針の変更) .....	8
(セグメント情報) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、令和5年5月に新型コロナウイルス感染症の感染法上の分類が第5類に変更されるなど、感染状況に景気が左右されないアフターコロナ期への移行が進み、景気は緩やかな回復傾向を続けました。しかしながら、消費財や資材価格の高騰等は、当社の主たるマーケットである新築住宅の着工を鈍化させ、それに加えて原材料や商品の仕入れ納期長期化が続くなど、依然として不確実な状況が続いております。また、米国やEUの金融引き締め継続による世界経済の悪化リスク、解決の兆しが見えないウクライナ情勢や台湾海峡の緊張等の地政学リスクの高まりによる国際的なサプライチェーンの停滞等、不透明な環境は継続しております。

そうした経営環境の中、当社におきましては、インダストリーセグメントは引き続き好調に推移して全社の業績を牽引いたしました。プロフェッショナルセグメントはやや伸び悩んだ結果となりました。この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高7,074百万円（前年同期比0.7%増）、営業利益181百万円（同1.4%減）、経常利益160百万円（同9.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益106百万円（同6.0%減）となりました。

セグメント別の経営成績は以下のとおりであります。

#### ①プロフェッショナルセグメント

インテリア事業は、リアルの大規模展示会の復活が糊付機をはじめ売上増に結びつき、売上高は前年同期を上回りました。また、令和4年10月のカタログ発刊前の駆け込み需要の反動減は収まり、同カタログにおける価格の見直しや展示会での糊付機上位機種種の販売増により収益力も強化できております。昼事業はリモート営業方式での営業活動のさらなる展開等により、「ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金」（中小企業庁）及び「事業再構築補助金」（中小企業庁）での当社量製造装置使用の案件採択率は順調ですが、補助金交付時期の影響や申請案件が減少してきたこと等から売上は低調に推移しました。その結果、プロフェッショナルセグメントの売上高は5,218百万円（前年同期比3.5%減）、営業利益121百万円（同24.5%減）となりました。

#### ②コンシューマセグメント

コンシューマ事業は、フィットネスクラブ向け防音・防振床材が好調を維持しましたが、棺用畳の需要回復は緩やかで、住宅向けの畳替え需要は依然として回復してきておりません。また、ソーラー・エネルギー事業は、中規模以上の案件開拓は依然として低調で、SDGs推進の観点から期待する法人向け市場の開拓もまだ不十分な状況です。その結果、コンシューマセグメントの売上高は553百万円（前年同期比0.5%減）、営業損失6百万円（前年同四半期は営業損失6百万円）となりました。

#### ③インダストリーセグメント

産業機器事業は、第2四半期までに引き続いて、主要製品である二次電池製造装置のリピー特受注が増加し、年度売上目標を超える受注が確保できた上、次年度の受注残も積み上がってきております。食品機器事業につきましては、大手飲食チェーンからのマルチディスペンサーの引き合いは徐々に回復してきたものの売上につながるまでには至っておりません。その結果、インダストリーセグメントの売上高は994百万円（前年同期比44.6%増）、営業利益83百万円（同73.9%増）となりました。

#### ④ニュー・インダストリーセグメント

令和2年10月1日に子会社化した株式会社ROSECCを当セグメントに位置付け、得意とする自動車関連業界に加えて、住宅設備関連業界の開拓を進めております。自動車の生産が回復し始め、関連業界における消耗品需要は増加しております。また、当期の大型案件の引き合いと受注は順調ですが、売上予定が第4四半期に集中しており、当四半期では売上回復に至りませんでした。その結果、ニュー・インダストリーセグメントの売上高は308百万円（前年同期比17.0%減）、営業損失16百万円（前年同四半期は営業損失17百万円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産の部

当第3四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べ60百万円減少し、10,370百万円となりました。資産のうち流動資産は、電子記録債権が34百万円増加、棚卸資産が304百万円増加しましたが、現金及び預金が216百万円減少、受取手形、売掛金及び契約資産が253百万円減少したこと等により、101百万円の減少となりました。固定資産につきましては、主に投資その他の資産が75百万円増加したこと等により、41百万円の増加となりました。

#### ②負債の部

当第3四半期連結会計期間末の負債につきましては、前連結会計年度末に比べ132百万円減少し、7,457百万円となりました。負債のうち流動負債は、賞与引当金が60百万円増加しましたが、支払手形及び買掛金が160百万円減少、その他が345百万円減少したこと等により、434百万円の減少となりました。固定負債につきましては、主に長期借入金が301百万円増加したことにより、302百万円の増加となりました。

③純資産の部

当第3四半期連結会計期間末の純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ72百万円増加し、2,913百万円となりました。これは、利益剰余金が52百万円増加、その他有価証券評価差額金が13百万円、退職給付に係る調整累計額が5百万円増加したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、令和4年11月15日の「令和4年9月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和4年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (令和5年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,497,062	1,280,528
受取手形、売掛金及び契約資産	1,898,641	1,645,074
電子記録債権	1,026,000	1,060,802
商品及び製品	704,424	954,872
仕掛品	268,383	247,927
原材料及び貯蔵品	368,875	443,266
その他	180,204	209,453
貸倒引当金	△126	△67
流動資産合計	5,943,466	5,841,858
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,794,954	2,115,870
土地	1,415,008	1,415,008
その他(純額)	575,822	258,553
有形固定資産合計	3,785,785	3,789,431
無形固定資産		
のれん	78,143	70,817
その他	136,217	106,231
無形固定資産合計	214,361	177,049
投資その他の資産		
その他	488,938	564,132
貸倒引当金	△1,699	△1,699
投資その他の資産合計	487,239	562,432
固定資産合計	4,487,385	4,528,913
資産合計	10,430,851	10,370,772
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	920,510	760,271
電子記録債務	1,342,435	1,273,078
短期借入金	1,700,000	1,700,000
1年内返済予定の長期借入金	189,083	243,318
未払法人税等	24,893	55,708
製品保証引当金	1,940	1,680
賞与引当金	141,362	202,210
役員賞与引当金	10,600	6,100
その他	686,005	340,133
流動負債合計	5,016,830	4,582,500
固定負債		
長期借入金	1,929,159	2,230,702
役員退職慰労引当金	253,900	269,700
退職給付に係る負債	334,227	327,348
その他	55,445	47,163
固定負債合計	2,572,732	2,874,914
負債合計	7,589,563	7,457,415

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和4年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (令和5年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	631,112	631,112
資本剰余金	481,062	481,062
利益剰余金	1,769,343	1,821,843
自己株式	△20	△48
株主資本合計	2,881,499	2,933,970
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,641	16,538
退職給付に係る調整累計額	△42,852	△37,151
その他の包括利益累計額合計	△40,210	△20,613
純資産合計	2,841,288	2,913,356
負債純資産合計	10,430,851	10,370,772

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和3年10月1日 至 令和4年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和4年10月1日 至 令和5年6月30日)
売上高	7,022,862	7,074,867
売上原価	4,872,750	4,857,676
売上総利益	2,150,111	2,217,191
販売費及び一般管理費	1,965,616	2,035,232
営業利益	184,495	181,958
営業外収益		
受取利息	1,030	717
受取配当金	421	339
受取保険金	11,887	334
補助金収入	3,090	16,922
その他	10,021	11,379
営業外収益合計	26,451	29,693
営業外費用		
支払利息	15,344	18,385
支払手数料	11,618	25,616
その他	6,914	7,391
営業外費用合計	33,877	51,393
経常利益	177,068	160,259
税金等調整前四半期純利益	177,068	160,259
法人税、住民税及び事業税	68,995	73,803
法人税等調整額	△5,097	△19,953
法人税等合計	63,898	53,849
四半期純利益	113,170	106,409
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	113,170	106,409



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和3年10月1日 至 令和4年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和4年10月1日 至 令和5年6月30日)
四半期純利益	113,170	106,409
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,289	13,896
退職給付に係る調整額	4,903	5,700
その他の包括利益合計	3,613	19,597
四半期包括利益	116,784	126,007
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	116,784	126,007
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 令和3年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。これによる四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 令和3年10月1日 至 令和4年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	プロフェッショナル	コンシューマ	インダストリー	ニュー・インダストリー	
売上高					
製品	2,011,250	408,929	669,245	267,892	3,357,317
商品	3,346,666	106,687	4,852	74,759	3,532,966
その他	49,517	41,008	13,511	28,539	132,577
顧客との契約から生じる収益	5,407,434	556,626	687,609	371,191	7,022,862
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	5,407,434	556,626	687,609	371,191	7,022,862
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	2,989	2,989
計	5,407,434	556,626	687,609	374,180	7,025,851
セグメント利益又は損失(△)	160,272	△6,425	47,902	△17,226	184,523

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	184,523
セグメント間取引消去	△28
四半期連結損益計算書の営業利益	184,495

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 令和4年10月1日 至 令和5年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計
	プロフェッショナル	コンシューマ	インダストリー	ニュー・インダストリー	
売上高					
製品	1,682,606	379,436	970,607	156,018	3,188,670
商品	3,479,077	135,775	8,109	113,312	3,736,275
その他	56,895	38,545	15,611	38,868	149,921
顧客との契約から生じる収益	5,218,580	553,758	994,329	308,199	7,074,867
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	5,218,580	553,758	994,329	308,199	7,074,867
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	275	275
計	5,218,580	553,758	994,329	308,474	7,075,142
セグメント利益又は損失(△)	121,031	△6,204	83,293	△16,160	181,960

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	181,960
セグメント間取引消去	△1
四半期連結損益計算書の営業利益	181,958